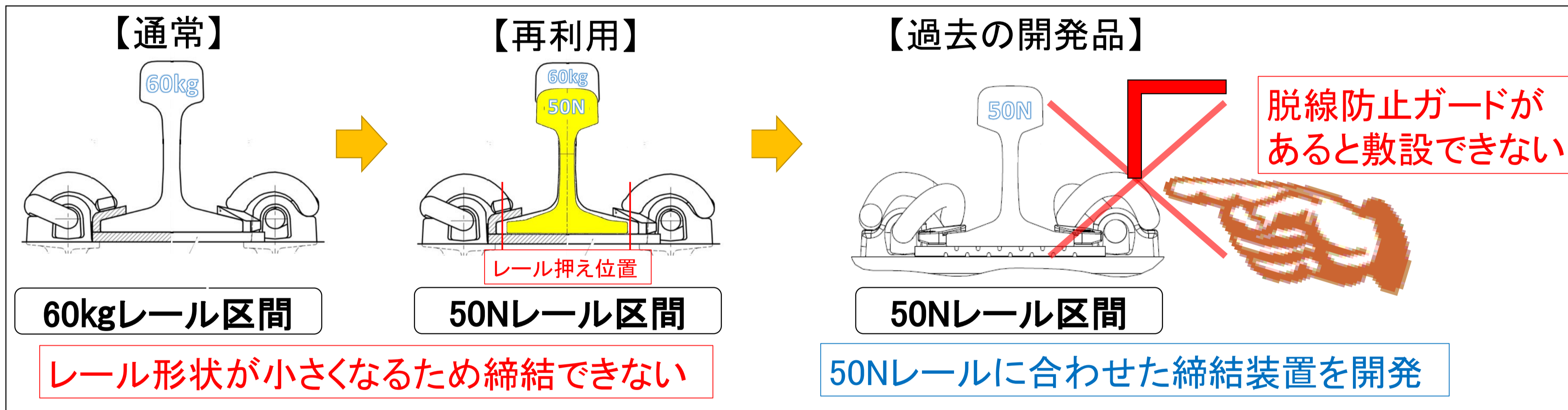


背景と目的

TC型省力化軌道工事等で発生する60kgレール用バンドロール形PCまくらぎ(以下、P6Hまくらぎ)を50Nレール区間のPCまくらぎ化工事において再利用することで、材料費のコストダウンを図ることが可能となる。このニーズを受け、50Nレールを締結可能なP6Hまくらぎ用のレール締結装置を過去に開発したが、脱線防止ガード設置箇所に適合できなかった。そこで、50Nレールの脱線防止ガード箇所で使用可能なP6Hまくらぎ用レール締結装置を新たに開発し、発生P6Hまくらぎのさらなる有効活用を可能とする。



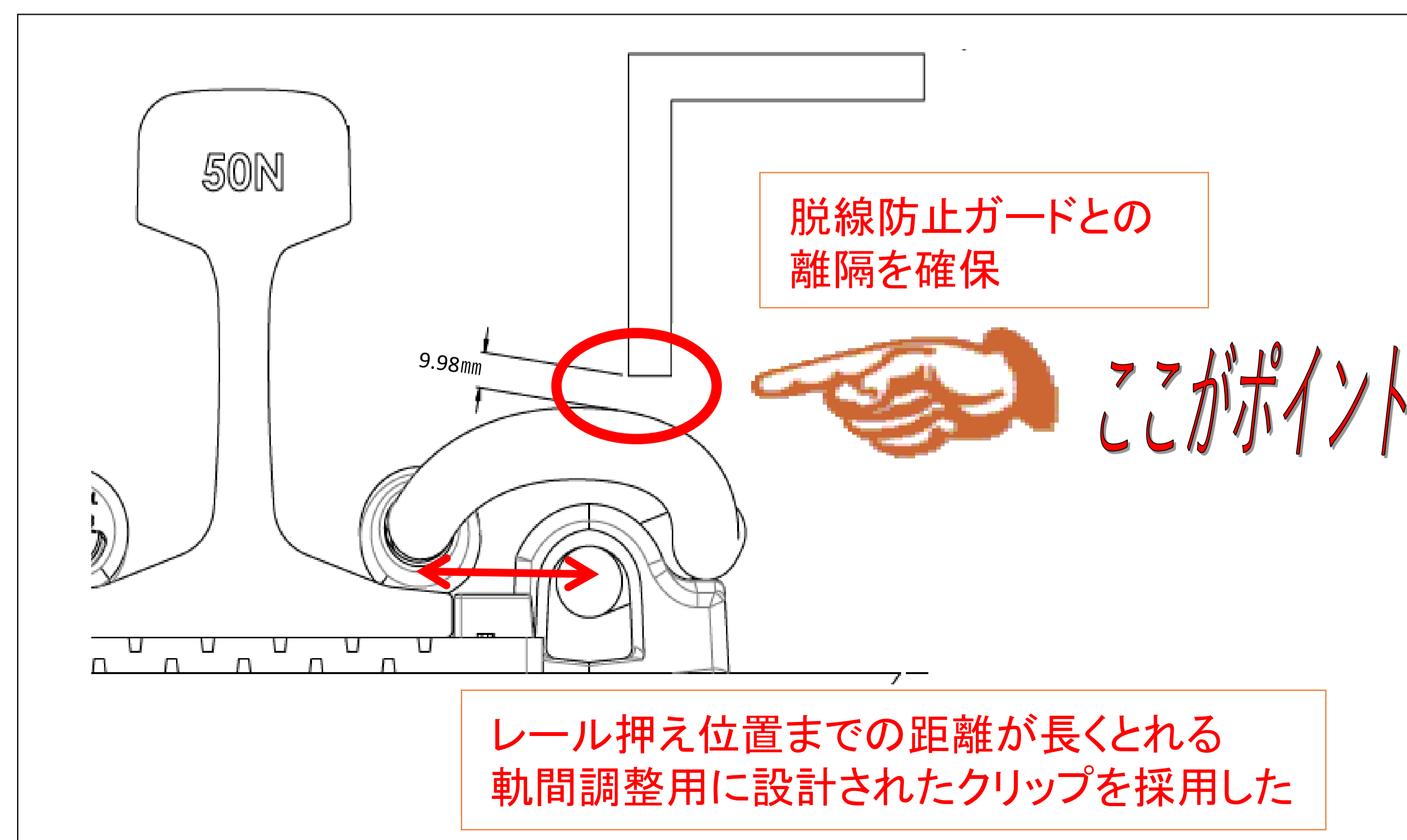
開発前の問題点



開発してよかった点

- ・バンドロールクリップを高さを抑えた幅広形状のものを採用することで、脱線防止ガードとの離隔を約10mm確保した。
- ・バンドロールクリップの外観が通常の50N用と異なるため、材料を混同せずに管理できる。
- ・60kgレール用まくらぎに50Nレールを締結でき、かつ脱線防止ガード敷設区間にも適合したため、発生まくらぎの有効活用が期待できる。

開発したものの



バンドロールクリップ + トゥインシュレーター



サイドポストインシュレーター



軌道パッド

性能確認試験を実施して、営業線に敷設できることを確認した。

【導入予定箇所】

- ・首都圏100km圏の副本線
- ・4級線や側線にも対応